

## 実証試験結果報告書の試行的な検証結果

実証試験結果報告書については、客観性・第三者性を確保しながらも、広報媒体としての有効性・妥当性を高めるため、本年度より、実証試験結果検証小委員会を設置し、実証試験結果報告書の作成要領（参考資料1）とそのチェックリスト（参考資料2及び3）を活用した、試行運用を行うことにより改善を図ってきた。

この結果、実証試験結果報告書において、「実証試験結果報告書の分量」や「実証申請者に記入いただく参考情報の充実」等で改善が見られた一方、以下の課題が抽出された。

項目	検証作業の中で出された課題	対応方針
全体	作成要領を踏まえて、実証試験結果報告書を作成する場合、作成要領を何らかの規定に位置づけた方がよいのではないかと。	実証機関が、実証試験結果報告書を作成する時点で、作成要領を踏まえて作成できるように、「 <u>事業実施要領</u> 」または「 <u>実証試験要領</u> 」に盛り込む等の方法が考えられるが、今後、実証機関協議会で、実証機関と調整を図る。
	実証試験結果報告書の記載ぶりを統一化して、見やすくするにしても、個々の技術分野の特性・実情を踏まえると、統一的な記載をすることができない場合があることから、たとえば、「 <u>必須区分</u> 」と「 <u>推奨区分</u> 」を設けるなど記載方法に幅を持たせてはどうか。	ご指摘を踏まえ、作成要領中に、「 <u>必須区分</u> 」と「 <u>推奨区分</u> 」を設けて、各技術分野の特性・実情に応じて記載方法に幅を持たせる。
2. ヘッダ	ヘッダに技術分野名及び実証番号の入った個別ロゴマークを添付すると、電子ファイルの容量が非常に大きくなるため、少なくなるよう工夫できないか。また、ヘッダにスペースがとられ、本文への影響が懸念されないか。	<u>容量の小さい共通ロゴマークを使用することとし</u> 、また、ヘッダのスペースについては、次年度に改善策を検討する。
3. 目次	目次構成は、統一された方がわかりやすいものの、各技術分野の特性・実情も踏まえる必要があるのでないか。	<u>読み手の知りたい情報を把握し、体系的にわかる順番に整理する</u> 。その際、分野ごとに特性・事情は異なるものの、目次の大項目程度は揃えるよう調整する。
4. 実証全体概要	システム系ではない、製品単体の技術は、実証対象がわかりにくいいため、視覚的な概要図等を導入してはどうか。	ご指摘を踏まえ、 <u>概要図等を盛り込むことを検討する</u> 。この際、 <u>実証申請者に対し申請時に情報提供を求めることも一案である</u> 。

項目	検証作業の中で出された課題	対応方針
5．実証対象技術の概要	<p>実証対象技術について、機器の原理、機器構成、仕様だけでなく、メリット（特徴）についても、記載してはどうか。</p>	<p>実証申請者が、主張される実証対象技術の特徴を報告書の冒頭に記載し、それを実証するのは、わかりやすくなると思われるので、実証機関協議会で調整する。</p> <p>ただし、ご指摘の事項については、原則、実証申請者からいただいた技術情報を基に引用しており、また、実証されていないことも踏まえると、客観的な観点で、慎重な対応が必要と考えている。</p>
6．実証試験の内容	<p>体制図は、統一された様式を用意した方がわかりやすいのではないか。また、試験場所についても、試験状況がわかる情報を盛り込むようにするべきではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、統一された体制図を検討する。</p> <p>試験場所についても、できる限り試験状況がわかるよう写真などを用いる。</p>
7．考察	<p>測定データのみの中でも、考察として記載できる要素は多い。また、「考察」ではないものの、実質的に考察である場合も多く、引き続き考察とできそうな箇所を前向きに検討するべきではないか。</p> <p>また、特筆すべき環境保全効果が見当たらない技術であっても、「専門家による技術的アドバイス」や「この点を改善すれば効果が出る可能性がある」等、技術開発の可能性を示すことで、読み手だけでなく、実証申請者にとっても、実証のメリットを感じられる記載ぶりにできないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘を踏まえ、記載ぶりについて、次年度以降も引き続き検討していく。</li> <li>・効果が見られなかった場合でも、試験の結果は事実として述べつつ、ご指摘を踏まえ、実証のメリットを感じられるような報告書を目指せないか検討する。ただし、この場合でも、第三者実証であることには、留意する必要がある。</li> </ul>
8．用語集	<p>用語集を定める場合、背景知識が十分ではない読み手（例：自治体の調達部門に異動されて間もない事務職の方）を想定した上で、記載する専門用語を定めるべきではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、背景知識が十分ではない読み手が理解できる水準の専門用語を検討することとする。</p>
チェックリストの使い方	<p>効率的に検証できるよう、Excelではなく、Wordで検証履歴を残して進めていった方がよいのではないか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、Excelではなく、Wordで履歴を残した検証作業に変更する。</p>